

ヤン・スンウォン

Sung-Won Yang

Cello Recital

チェロ・リサイタル

Enrico Pace, piano

ピアノ=エンリコ・パーチェ

2018年 **10/23** (火)
19:00開演(18:30開場)
紀尾井ホール

【チケット料金】 S¥5,000 A¥4,000 B¥3,000

【チケット取扱】

紀尾井ホールチケットセンター 03-3237-0061 (10:00~18:00 日・祝休)

チケットぴあ 0570-02-9999 <http://t.pia.jp/> (Pコード:780-246)

カンフェティ 0120-240-540 <http://confetti-web.com/>

～リスト&ショパン プログラム～

リスト
Liszt:

エレジー第1番 S.130
Elegie No. 1 S. 130

慰めS.172より 第1、第4番
Consolation S. 172- No. 1 and No. 4

忘れられたロマンス S.132
Romance Oubliée S. 132

慰めS.172より 第6番
Consolation S. 172- No. 6

悲しみのゴンドラ S.134
La Lugubre Gondola S. 134

慰めS.172より 第3番
Consolation S. 172- No. 3

ノネンヴェルトの僧房 S.382
Die Zelle in Nonnenwerth S. 382

詩的で宗教的な調べS.173より「愛の賛歌」
Harmonies poétiques et religieuses S. 173 -Cantique d'amour

ショパン
Chopin:

チェロソナタト短調 作品65
Sonata for Cello and Piano in G minor Op. 65

序奏と華麗なるポロネーズ 作品3
Introduction and Polonaise Brillante in C Major Op. 3

「深々とした響きが持ち味の正統派チェリスト」

昨年の来日公演で、初めてヤン・スンウォンの演奏を聴いた。気取りなく実直な音で紡がれた、バッハの無伴奏チェロ組曲だった。そのバッハの緊密に織り上げられたテキストのなかに、さりげなく旋律を浮き上がるように歌わせる巧さもある。さらに、それを舞曲のリズムの原動力にして、たくましい流れをも作り出す。まさに熟達の芸。韓国を代表するチェリストは、深々とした響きが持ち味の正統派だった。

今回の演奏会では、リストとショパンのプログラムを披露する。共演は、細やかに彫琢されたピアノニズムで聴かせるエンリコ・パーチェ。ショパンのチェロ・ソナタをメイン・ディッシュに、リストの有名ピアノ曲のチェロとピアノ版など、ロマン派本流の作品を、情熱をはらませて歌い上げてくれるのでないだろうか。最初に演奏される、リストの「エレジー」第1番、冒頭のチェロの響きを想像するだけで、気持ちが昂ってくる。

鈴木淳史(音楽ライター)



ヤン・スンウォン(チェロ) Sung-Won Yang, Cello



ソリスト、室内楽奏者として世界的に活躍するチェロリスト。これまでにアリス・タリー・ホール(ニューヨーク)、サル・ブレイエル、シャンゼリゼ劇場(パリ)、コンセルトヘボウ(アムステルダム)、テラス・シアター(ワシントンDC)、ムジークフェライン(ウィーン)、中国国家大劇院(北京)など一流のコンサートホールで演奏を行っている。クリストフ・エッセンバッハ、チョン・ミンフン、バーテル・エトヴェシエ、カンドンスク、パスカル・ドゥヴァイヨン等多くの著名な音楽家と共演。エトヴェシエの合奏協奏曲を作曲家自身の指揮、ソウル・フィルハーモニー管弦楽団でアジア初演するなど、現代音楽にも関心を寄せ、若手の現代作曲家に定期的に新作を委嘱している。

EMIコリア専属契約アーティスト時代にリリースされたコダーイの作品集は、2003年2月のグラモフォン誌月間特選盤に選出、同年12月には英国グラモフォン誌で批評家が選ぶ優秀作に推薦された。同作品は、オランダでエディソン賞ベスト・ソロ・アルバムにノミネートされている。

韓国・ソウル生まれ。パリ国立高等音楽院を卒業後渡米し、インディアナ大学にてヤーノシュ・シュタルケルに師事、アシスタントも務める。バンフ国際室内楽コンクール(カナダ)、アンドレ・ナヴァラ国際チェロ・コンクール(フランス)、カサド国際チェロ・コンクール(日本)で審査員を務める。多くの輝かしい受賞歴を持ち、現在は延世大学チェロ科教授、英国王立音楽院客員教授として後進の指導にもあたっている。使用楽器は1692年製A.ガールネリ。

エンリコ・パーチェ(ピアノ) Enrico Pace, Piano



イタリアのリミニ生まれ。1989年フランス・リスト・ピアノ国際コンクールに優勝し、国際的なキャリアをスタート。以降、アムステルダム(コンセルトヘボウ)、ミラノ(ヴェルディ・ホール、スカラ座)や南米各地などで幅広く活動し、ラ・ロック・ダンテロン、ルツェルン、など多くの音楽祭にも出演している。

最近では、ネザールランド・フィル、フィレンツェ五月音楽祭管、ハンガリー国立フィル、エーテポリ響、ロンドン響等と共演。レオニダス・カヴァコスとは、ニューヨーク(カーネギー・ホール)、アテネ、フィレンツェ、ミラノ、アムステルダム、モスクワ、東京、ザルツブルク音楽祭、ボン・ベートーヴェン音楽祭でベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲演奏を行ったほか、アメリカ、ヨーロッパ、中国各地でのデュオ・リサイタルに出演した。諏訪内品子とは、日本各地とロンドン(ウイグモア・ホール)でリサイタルを予定。ソロでは、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ミュンヘンのヘルクレスザールなどに登場する。2013年1月にカヴァコスと録音したベートーヴェンのソナタ全曲(デッカ)は、グラミー賞にノミネートされた。また、ツインマーマンとは、ブゾーニのヴァイオリン・ソナタ第2番、バッハのヴァイオリン・ソナタ全曲を録音している(ソニー・クラシカル)。ソロでは、2011年にリストの「巡礼の年」より「スイス」と「イタリア」を録音(ピアノ・クラシックス)し、高い評価を得た。



卓越したテクニックと豊かな音楽性!

Sung-Won Yang

J.S.バハ: 無伴奏チェロ組曲 全曲

- 無伴奏チェロ組曲 第1番 ト長調 BWV1007
- 無伴奏チェロ組曲 第2番 二短調 BWV1008
- 無伴奏チェロ組曲 第3番 ハ長調 BWV1009
- 無伴奏チェロ組曲 第4番 変ホ長調 BWV1010
- 無伴奏チェロ組曲 第5番 ハ短調 BWV1011
- 無伴奏チェロ組曲 第6番 二長調 BWV1012

ヤン・スンウォン(チェロ) 録音:2017年パリ
DD-41156 直輸入盤(オープン価格)



Access Here ▶

発売・販売元:ユニバーサル ミュージック <http://www.universal-music.co.jp/classics/>

ユニバーサルミュージックストアから商品が購入できるようになりました!(一部商品を除く) <http://smarturl.it/um-classics>

ニュースレター会員募集中! 無料で最新情報を! <http://umusic.ly/umnews>